

# 親子支援だより ほっと通信 10月号 No.6

令和元年10月1日 浜松学院大学付属幼稚園  
 [著発行] 教頭：山梨明子 [添文] 心の相談員：中島祐子

毎日、家事や育児を頑張るお母さん。このおたよりを読みながら・・・

① ほっとひと息ついて ② ホットと安心し ③ ホット (HOT) な温かく優しい  
 気分になりますように…♡ いつでも応援しています。共に歩みましょうね!

とうとう10月がやってきました…！実はこの時がやってくるのが怖くて仕方なかった私。なぜって、増税や保育料無償化開始に伴う業務が満載で、検討事案、システム変更、書類作成、管理運営面での確認と変更等にも追われ、10月の改定に間に合うだろうか、園児の保育や保護者対応に支障をきたすことはないか、行政との関連でミスが生じないか等…書き出すとキリがありませんが、そんなことでも四苦八苦しておりました(もちろん改定後の業務も待ち受けていますが)。それに、どちらかと言えば私にとって不得意分野の業務なので、余計に不安と焦りがあると思うのですが…。ただ、そんな自分の心配をよそに子ども達は運動会に向け、楽しく取り組みながら成長を遂げる日々…。しかも、運動会の種目には子どもにとっては苦手の鉄棒、平均台、跳び箱などもあります。けれども、苦手なことにも一生懸命に挑戦している子どもたちの姿を見ると「私も頑張らなくちゃ！不得意でも克服しよう！」と原動力を与えられた気がしました。

ともあれ、10月を迎えるにあたっては、ご家庭からも書類の記入や各種証明書の発行手続き等でご協力いただきました。また、日本中の企業、役所など全ての機関で、増税と無償化に向けて膨大な業務をこなしていることは明らかです。本当に皆様お疲れ様です…！と、働くみなさんの労力に頭が下がる思いです。では、保育料の無償化が子どもにもたらす影響は何だろう？ 毎日必死で子どもに向き合うお母さん、お父さんにとってどんな効果が？…と考えると、乳幼児を持つ世帯にとって無償化は、一時的とはいえ家計の助けにもなるでしょうし、社会的には雇用を生むでしょうし、教育格差の広がりを抑えることにもつながるかもしれません。しかし、無償化によって待機児童が増えたり、保育利用者が増え保育士不足が加速したり、長時間子どもを預ける家庭が増えたり(日本は他国に比べ無償化対象時間が長いのです)するだろうという懸念もあります。思い起こせば政府の『人づくり改革』の発想や、『少子高齢化対策』として無償化が検討されてきたように思います。でも、無償化で本当に出生率が増える？教育が充実する？家庭が豊かになる？…どれも明言はできない気がします。やっぱり『人づくり』は子どもに関わる全ての人々が温かなまなざしで子育てを営むことに尽きると思います。幸福感は人それぞれですが、「子どもがいて楽しい！我が子でなくとも子どもそのものを、明るい未来を創る愛おしい存在！」と皆が感じられる社会・家庭・教育現場でありたいと思うのです。右欄の感想でいただいた「笑顔が一番♡」というメッセージは、そのことを反映しているように感じました。無償化になり、経済的負担が少しだけ軽減された分、親の心がより豊かになって、子どもを慈しむ時間が増えると良いなと思いますし、私自身も「忙しい時こそ心を亡くさず子どもたちと楽しむことを大事にしたいな」と感じました。そして何より、一般的に言われる『無償化により保育の質が落ちる』なんてことがないように、当園としては今までと変わらず子どもたちにたっぷりの愛情を注いでいきますし、保育の質向上に努めたいと気持ちを新たにしています。山梨

こんにちは。いつも「ほっと通信」を読んでくださり本当にありがとうございます！台風の時節…。先日、気圧の変化で様々な身体症状が出ることを検証する番組がありました。やっぱり人間は地球という名の船の乗組員の一存在であり、ひいては母なる宇宙の懐の中で生きている存在なのだなあ…なんて思いを馳せました。そうそう！尊敬する恩師が、自分のことを『宇宙塵(うちゅうじん)』って言ってました！たしかに宇宙からみたら、自分も周囲も宇宙の塵(ちり)かも～と思うと、日々ジタバタしている自分が可笑しく、なんだか肩の力が抜ける気がしました！こういうユニークな視点を大事にしたいなあ～♡

さて、フランス生活体験話…結構反響をいただき、調子に乗って『第3弾』です♪ 毎度登場する長男ですが、入学した現地校でアナちゃんという赤毛そばかすの可愛い女の子が、フランス語ゼロの息子を何かと気にかけて親切にしてくれました。まだまだ友達作りが不器用だった息子も、誕生会に招かれたり招いたり…とても仲良しになりました。いよいよ帰国の日が近づき、今日が学校に行ける最後という日に、息子がどんな雰囲気クラスで過ごしていたのか、最後の授業を参観したいと先生にお願いし、快く受け入れて頂きました。

授業が終わった時に、先生がみんなに息子が明日帰国することを話されました。そして、アナちゃんに「アナ、あなたはY(息子の名前)のことが好きだったんだよね？」と呼びかけました。アナちゃんは、はみかみながらもしっかりと頷きました。先生はにっこりと微笑み、「よろしい！アナ、Yにピズしますか？」と目配せされたのです。アナちゃんは息子のところに行き、ほっぺに優しくピズをしました。そうしたら、クラス中の子どもたちが拍手をしてくれ、それはそれは温かなひとときになったのです。私の涙腺が一気に緩んだ瞬間でした。小学4年のクラスでしたが、相手を慕う純粋な子どもの気持ちと、人として大事にすべき想いとしてしっかり汲み取り受けとめる価値観が確かにあること、さらに周囲の子どもたちもそのことを理解し、純粋な気持ちで祝福できるという文化が本当に素晴らしい…と深く感動しました。

初めの頃は、鬼ごっこしてたら誰もいなくなってひとりて鳩を追いかけて休み時間を過ごした～などの息子の切ない話を聞いた時に私が泣いてきた現地生活でしたが、最後にはこのような温かな経験を親子で共にさせて頂けたこと…心から感謝でした。

さて、ピズというのは、両ほほに触れ合うフランス風の挨拶です。こんな風に欧米はスキンシップが多い！というより、日本が少な過ぎるようです。公園でも子どもに負けじと夫婦でもスキンシップが普通の光景です。思春期の子にも、毎回いつてらっしゃいとおかえりなさいのピズにハグ…介護で触れ合いが大事なことを思うと、私たちは生涯肌の触れ合いが必要なかもしれませんね。ちなみにうちの思春期のツインデレ娘は、未だに背中かいて～、マッサージして～ぎゅーして～！など末っ子だけあって甘えるのが上手！甘え下手な長女の私はうらやましくなっちゃいます！振り返ってみれば、我が子にスキンシップしてあげてると思って、本当は私の方もいっぱい癒されてきたのかもしれないなあ…こんな風に味わえるようになってきたのは、やっぱり歳をとったに違いありません♡ 心の相談員：中島祐子

**お寄せ頂いた「感想」より**

我が子の「ほっと通信」があったのでお便りします。5歳の息子が私に言ってくれました。『ママ！笑顔でいるのが一番いい♡』私は「なに構えて子育てしてたんだらうと、子育てを楽しんでいない自分を発見しました。…中略…この5年間の子育ては全力疾走だったと思います。疲れ果て涙する時期もありました。でも息子の『笑顔だよ♪』という一言が『子育てをシンプルに考えていいんだ』と教えてくれました。もちろん葛藤することもあります。今は息子の一言で自分をリセットするようにしています。子育ては自分(親)育て！息子に感謝の毎日です！シンプル子育てって素敵ですね！



- 10月カウンセリング予定**
- ★10月3日(木)11:00～可
  - ★10月10日(木)空きはありません
  - ★10月11日(金)空きはありません
  - ★10月17日(木)11:00～、13:00～可
  - ★10月18日(金)13:00～可
  - ★10月31日(木)13:00～可

- 11月カウンセリング予定**
- ★11月1日(金) 全て枠で予約可能です
  - ★11月7日(木) 全ての枠で予約可能です
  - ★11月14日(木) 13:00～可
  - ★11月15日(金) 全ての枠で予約可能です
  - ★11月21日(木) 全ての枠で予約可能です
  - ★11月28日(金)13:00～可

◎カウンセリングは守秘義務を厳守します。(保育に関わること等は、保護者様のご希望や必要性に応じて園教員と共有させていただきます) 場合があります。その際はカウンセリング時にご意向をお伺いします。) カウンセリングの対象は付属幼稚園の保護者となります。予約の際は、在園保護者を優先しますが、空き状況により、未就園児活動に参加している保護者(当園に入園予定の方)と、当園卒園の保護者(卒園から1学期間に限る)を対象に、予約をお受けすることができます。また、未就園児のお子さんを連れてカウンセリングをする場合、託児を依頼することも可能ですのでご相談ください。(1回1,000円の実費)

◎カウンセリングの予約は、幼稚園に電話(☎472-5193)をし、希望の日時をお知らせください。その場で空き状況をお伝えして、日時を決定します。(幼稚園の会議室で実施します)カウンセリングは無料です。